

令和 7 年度

中学校プレテスト

国 語

注 意

- 1 問題は一から三まで 3 問あります。
- 2 試験時間は 45 分で、始めの合図で開始し、終わりの合図で筆記用具をおいてください。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えを直すときは、きれいに消してから新しい答えを書いてください。
- 5 受験番号を問題用紙と解答用紙の決められたところに記入してください。
- 6 解答は別紙の解答用紙に記入してください。
- 7 字数制限のある解答は、句読点や記号「 」・（ ）などを一字と数えます。

受験番号	
------	--

一、次の各問いに答えなさい。

問一 次の①～⑤の――線のカタカナを漢字に直して書きなさい。

- ① 紅茶にサトウを入れる。
- ② 家をカイチクする。
- ③ 荷物がトドク。
- ④ サイガイに備える。
- ⑤ 土地がコえる。

問二 次の①～⑤の熟語の組み立ての説明として、最も適切なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | | | | |
|--|--------|------|------|------|
| ① 豊富 | ② 着任 | ③ 未定 | ④ 進退 | ⑤ 急増 |
| ア 意味が反対の漢字や対 ^{つひ} になる漢字を組み合わせたもの | (例) 売買 | | | |
| イ 上の漢字が下の漢字の意味を説明(修飾 ^{しゅうしよく})するもの | (例) 他人 | | | |
| ウ 意味が似た漢字を組み合わせたもの | (例) 場所 | | | |
| エ 下の漢字から上の漢字へ返って読むと意味がよくわかるもの | (例) 作文 | | | |
| オ 上の漢字が下の漢字の意味を打ち消しているもの | (例) 不満 | | | |
| カ 上下の漢字が主語と述語の関係のもの | (例) 市立 | | | |

問三 次の①～⑤の慣用句・ことわざの意味として最も適切なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 気が置けない

ア 一緒にいても気を遣ったり遠慮したりしてしまふ。

ウ どうしようもなく不安で仕方がない。

② 寝耳に水

ア 一度寝ると水がかかっても起きないこと。

ウ どれだけ考えてもよい案が浮かばないこと。

③ 対岸の火事

ア 川の向こう岸の火事を見てあわてること。

ウ 大変な出来事でも自分には関係がなく苦しみを感ぜないこと。

④ 馬の耳に念仏

ア まったく元気がなくなること。

ウ こちらの命令を何でも聞くこと。

⑤ あぶ蜂とらず

ア 危険な場所には近づかないこと。

ウ 色々な出来事に目を向けること。

イ 気を遣ったり遠慮したりせずに気楽に付き合える。

エ 少しも気が抜けず心が休まらない。

イ 寝ようとしてもなかなか寝付けないこと。

エ 思ってもいなかったことにびっくりすること。

イ どこで問題が起こっているのかわからないこと。

エ 相手の苦しみを自分のことのように感じることに。

イ 意見や忠告をしても全く効き目がないこと。

エ 何度か注意すれば言うとおりになること。

イ 思いがけない利益が手に入ることに。

エ 欲張ると結局全て失敗すること。

問四 次の各文の――線の部分の敬語表現が適切なものには○、そうでないものには×と答えなさい。

- ① 私がご案内なさいます。
- ② 友人と私とで、先生のお話をうかがった。
- ③ お客様は正午にいらっしゃるでしょう。
- ④ あなたのお父さんは、その時、何と申したのですか。
- ⑤ どうぞこちらでお会いになられてください。

二、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

将棋と勉強を両立させながら、将棋のプロになるべく奨励会（日本将棋連盟のプロ棋士養成機関）への入会を目指している中学1年生の小倉祐也は、研修会（奨励会入会を目指す20歳以下のアマチュア有段者の会）での対局で連敗が続き、自信を失っていました。10月の連敗でC2からD1に降級した祐也は、11月の研修会の対局でも連敗が続いており、この日も、午前中の2対局で2連敗してしまいました。

鳩森八幡神社の電話ボックスから将棋会館に戻り、祐也は4階の桂の間で幕の内弁当を食べた。胃が痛いし、まるで味がしないのに、どんどん食べられるのがふしぎだった。

「小倉君。持ち時間なしの一手10秒で一局指さない？」

今日の2局目に対戦した野崎君が声をかけてくれたが、祐也は首を横に振った。1年前、野崎君は将棋を始めてわずか2年で研修会に入ってきた。入会試験の1局目を祐也が指したので、よくおぼえていた。朝霞こども将棋教室に通っていて、*二段になったばかり、歳は祐也よりひとつ上だという。

「中1で二段？ それで、どうやってプロになるんだよ。こいつ研修会をなめてるだろ」

むやみに腹が立ち、祐也は野崎君を*容赦なく叩きつぶした。じっさい、野崎君は入会試験の8局を3勝5敗の成績で、*E2クラスでの入会となった。

「あんなやつはE2が最高で、あとは落ちていくだけさ」

祐也が②いつになくイジワルな気持ちになったのは、野崎君と同じ朝霞こども将棋教室に通っていた山沢貴司君にまったく歯が立たなかったからだ。祐也より4ヵ月あとに入会してきた山沢君は小学3年生にして四段だった。aヒョウバン通り、破格の強さで、8月の奨励会試験に合格して小学4年生での奨励会入りとなり、ちよつとしたニュースになった。

一方、野崎君も派手さはないが、着実に自力をつけていた。祐也の予想に反してE2からE1へ、そしてさらにD2へと昇級し、2ヵ月ほど前から祐也とも対局が組まれるようになった。もっとも祐也のほうが力は上で、最初の試験対局と合わせて3連勝していたが、今

日の2局目でついに初黒星を喫してしまったのである。

④ 祐也は、野崎君に密かに感心していた。D2では、奨励会試験に合格するのはかなり難しい。野崎君はもう中学2年生なのだから、かりにこのままのペースで昇級したとしても、合格ラインであるC2にあがるのは1年後だ。奨励会へは*6級で入会するのが普通だから、高校1年生での入会では、*20歳の誕生日までに初段というハードルはまず越えられない。

つまり野崎君は祐也以上に焦らなければならないはずなのに、いまでもひとりで黙々と詰め将棋を解いている。その落ち着いた態度は、祐也がまねしたくても、まねようのないものだった。

やがて1時15分が近づき、ひとりまたひとりと対局場である大広間にむかっていく。祐也も桂の間を出て盤の前にすわったが、とたんに緊張しだして、呼吸が浅くなるのがわかった。

3局目の将棋も、まるでいいところがなかった。飛車を振る位置を三度も変える体たらくで、かつてなくみじめな敗戦だった。4局目も、中盤の入り口で、銀をタダで取られるミスをした。祐也は大広間から廊下に出て、頭を抱えた。

「祐也」

呼ばれて顔をあげると、*三和土に背広を着た父が立っていた。

「どうした？」

心配顔の父に聞かれて、祐也は4連敗しそうだと言った。

「そうか。それじゃあ、もう休もう。ずいぶん、苦しかったろう」

祐也は父に歩みよった。肩に手を置かれて、その手で背中をさすられた。

⑤ 「挽回できそうにないのか？」

手を離れた父が一步さがって聞いた。

「無理だと思う」

祐也は目を伏せた。

「そうか。それでも最後まで最善を尽くしてきなさい」

「わかった」

父に背をむけて、祐也は大広間に戻った。どう見ても逆転などあり得ない状況で、こんな将棋にしてしまった自分が情けなかった。

10手後、^⑥祐也は頭をさげた。次回の、今年最後の研修会で1局目から3連勝しないかぎり、D1で2度目の降級点がつき、D2に落ちる。これでは奨励会試験に合格するはずがない。しかし、そんなことよりも、いまのままでは、将棋自体が嫌いになりそうで、それがないよりこわかった。

祐也はボディーバッグを持ち、大広間を出た。

「負けたのか？」

父に聞かれて、祐也はうなずいた。そのまま二人で1階まで階段をおりて、JR千駄ヶ谷駅へと続く道を歩いていく。いきには気づかなかったが、街はクリスマスの飾りでいっぱいだった。

「プロを目ざすのは、もうやめにしなさい」

祐也より頭ひとつ大きな父が言った。

「2週間後の研修会を最後にして、少し将棋を休むといい。いまのままだと、きみは^⑦取り返しをつかないことになる。わかったね？」

「はい」

そう答えた祐也の目から涙が流れた。足が止まり、あふれた涙が頬をつたって、地面にぽとぽと落ちていく。ムネがわななき、祐也はしゃくりあげた。こんなふうに泣くのは、保育園の年少組以来だ。^{*}身も世もなく泣きじゃくるうちに、ずっと頭をおおっていたモヤが晴れていくのがわかった。

「将棋をやめると言っているんじゃない。将棋は、一生をかけて、指していけばいい。しかし、おとしの10月に研修会に入ってから、きみはあきらかにおかしかった。おとうさんも、おかあさんも、気づいてはいたんだが、将棋については素人同然だから、どうやってとめていいか、わからなかった。2年と2ヵ月、よくがんばった。今日まで、ひとりで苦しませて、申しわけなかった」

⑧ 父が頭をさげた。

「そんなことはない」

祐也は首を横にふった。

「たぶん、きみは、^{*}秀也が国立大学の医学部に現役合格したことで、相当なプレッシャーを感じていたんだろう」

父はそれから、ひとの成長のペースは^⑨千差万別なのだから、あわてる必要はないという意味の話をした。

千駄ヶ谷駅で総武線に乗ってからも、父は、世間の誰もが感心したり、褒めそやしたりする能力だけが人間の可能性ではないのだということをわかりやすく話してくれた。

「すぐには気持ちを切り換えられないだろうが、まだ中学1年生の12月なんだから、いくらでも挽回はきく。高校は、偏差値よりも、将棋部があるかどうかで選ぶといい。そして、自分なりの将棋の楽しみかたを見つけろんだ」

ありがたい話だと思ったが、祐也はしだいに眠たくなってきた。錦糸町駅で乗り換えた東京メトロ半蔵門線のシートにすわるなり、祐也は眠りに落ちた。

午後6時すぎに家に着くと、玄関で母がむかえてくれた。

「祐ちゃん、お帰りなさい。お風呂が沸いているから、そのまま入ったら」

いつもどおり、張り切った声で話す母に、祐也は顔がほころんだ。

浴槽につかっているあいだも、夕飯のあいだも、祐也は何度も眠りかけた。2年と2カ月、研修会で戦ってきた緊張がとけて、ただただ眠たかった。

悲しみにおそわれたのは、ベッドに入ってからだ。

「もう、棋士にはなれないんだ」

祐也の目から涙があふれた。布団をかぶって泣いているうちに眠ってしまい、ふと目をさますと夜中の1時すぎだった。父と母も眠っているらしく、家のなかには物音ひとつしなかった。

* 常夜灯がついた部屋で、ベッドのうえに正座をすると、祐也は将棋をおぼえてからの日々を思い返した。米村君^{よねむら}はどうしているだろう。中学受験をして都内の私立に進んでしまったが、いまでも将棋を指しているだろうか。いつか野崎君と、どんな気持ちで研修会に通っていたのかを話してみたい。

祐也は、頭のなかで今日の4局を並べ直した。どれもひどい将棋だと思っていたが、1局目と2局目はミスをしたところで正しく指していれば、ユウセイ^cに持ち込^こめたことがわかった。

「おれは将棋が好きだ。プロにはなれなかったけど、それでも将棋が好きだ」

^⑩うそ偽^{いつはり}りのない思いにからだをふるわせながら、祐也はベッドに横になり、深い眠りに落ちていった。

(佐川光晴^{さがわみつはる}『駒音高^{こまおと}く』)

* 二段……アマチュア二段。

* 容赦なく……手加減したり、情けをかけたりせずに全力で。

* E2クラス……研修会において、実力に応じて編成されたクラスのうちの下から三番目のクラス。

* 6級……奨励会のプロ棋士の6級。プロ棋士の段級の基準はアマチュアの基準とは別のもので、プロ棋士6級はアマチュア四段程度に相当する。

* 20歳の誕生日までに初段……奨励会では厳^{ねんれい}しい年齢制限があり、何歳までに何段になれば奨励会退会という決まりが設けられている。

* 三和土……ここでは玄関^ぬでくつを脱ぐ場所のこと。

* 身も世もなく……自分のことも世間のことも考えられないほど悲しみがひどく。

* 秀也……祐也の兄。

* 常夜灯……一晩中つけておく小さな明かりのこと。

問一 ――線 a c のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 ――線①「今日の2局目に対戦した野崎君」とありますが、祐也の、野崎君との対戦成績は、初めての対局から今日の2局目までで何勝何敗ですか。「□勝□敗」の□に入る数字を、**算用数字**で答えなさい。

問三 ――線②「いっになくイジワルな気持ちになった」とありますが、祐也が野崎君に対してそのような気持ちになった理由として適切なものを次から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 年下の山沢君が奨励会試験に合格したことで、野崎君が自分も奨励会に簡単に入れると考えていることに対して腹が立ったから。
- イ 野崎君が、将棋の強い山沢君と同じように地道な努力を続けて、順調に力をつけていることがわかり、ねたましく思ったから。
- ウ 野崎君の将棋教室が、祐也がとうていかなわないほど強い、奨励会入りした山沢君と同じだと知り、嫌な気持ちになったから。
- エ 小学4年生という早さで奨励会入りしたことで有名な山沢君と、野崎君が同じ将棋教室だったことがうらやましかったから。
- オ 野崎君が、プロ棋士になるにはおそいと思われる年齢と実力で、研修会に入会してきたことが気に入らなかったから。

問四 ――線③「祐也の予想」とありますが、祐也は野崎君のことをどのように予想していましたか。予想にあたる部分を本文中から十七字でぬき出して答えなさい。

問五 — 線④「祐也は、野崎君に密かに感心していた」とありますが、その理由を説明したものとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア プロ棋士になることにこだわっている自分と違い、野崎君はプロになることをいさぎよくあきらめているように思えたから。
- イ 将棋盤の前にすわると、焦りと緊張でミスを重ねてばかりいる自分と違って、野崎君はいつも明るく自然体でいたから。
- ウ この先奨励会に合格できたとしても、プロになるのは難しいと思われる野崎君が、必死に努力しているようだったから。
- エ 野崎君が、プロ棋士になることにおいて自分より厳しい状況にあるのに、焦ることなくまじめに将棋と向き合っていたから。

問六 — 線⑤「挽回できそうにない」とありますが、この言葉と似た意味で使われている言葉を、本文中から九字でぬき出して答えなさい。

問七 — 線⑥「祐也は頭をさげた」、線⑧「父が頭をさげた」とありますが、それぞれの「頭をさげた」は何を意味するものですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア ⑥は対局での祐也の激しい疲れを意味するもので、⑧は祐也に対して何もできなかったことへの父の反省を意味するもの。
- イ ⑥は対局における祐也の負けを意味するもので、⑧は祐也をひとりで苦しませていたことへの父の謝罪を意味するもの。
- ウ ⑥は祐也がひどく落ち込んでいることを意味するもので、⑧は祐也に対する父の接し方の迷いや混乱を意味するもの。
- エ ⑥は祐也の研修会での降級確定を意味するもので、⑧は祐也に将棋を教えてあげられなかった父の後悔を意味するもの。

問八 — 線⑦「取り返しのつかないこと」の説明として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 祐也が二度と将棋で勝てなくなってしまうこと。
- イ 祐也が目標としてきた奨励会への興味を失うこと。
- ウ 祐也が将棋そのものを嫌いになってしまうこと。
- エ 祐也が研修会にいられなくなってしまうこと。

問九 ― 線⑨「千差万別」の意味として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 大きな差はないこと。

イ それぞれ異なること。

ウ 違うようで同じであること。

エ 非常にはやいこと。

問十 ― 線⑩「うそ偽りのない思い」とありますが、どのような思いですか。三十字以内で答えなさい。

三、次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

① 植物の発芽に必要な三つの要素は何だろうか？

教科書には、「水、酸素、温度」と書いてある。

そのため、暖かい時期に、土を耕して空気が入りやすいようにしてから種子を播き、水を掛けてやれば、水と酸素と温度の三つが揃って芽が出てくるのである。

ところが、^① 雑草はこの三つの要素が揃っても芽を出さない。

それは、雑草が「休眠」という性質を持つからなのである。

「休眠」というと休眠会社や、休眠口座など、働いていないという良くないイメージがある。何しろ、「休眠」は「休む」「眠る」と書くのだ。

たくましい雑草の戦略が、「休む」「眠る」というのは、情けないような気もするが、そうではない。「休眠」は雑草にとって、もつとも重要な戦略の一つなのである。

休眠は、すぐには芽を出さないという戦略である。

野菜や花の種子は、播けばすぐに芽が出てくる。野菜や花の種子は人間が適期を見定めて播いてくれる。そのため、すぐに芽を出すことが ^a トクサクなのである。芽を出す時期は、人間が決めているのだ。

しかし、雑草の種子は発芽のタイミングを自分で決める必要がある。

雑草の種子が熟して地面に落ちたとしても、それが発芽に適しているタイミングとは限らない。たとえば、秋に落ちた種子が、そのまま芽を出してしまうと、やがてやってくる厳しい冬の寒さで枯れてしまう。また、まわりの植物がうつそうと茂っていれば、芽を出しても光が当たらずに枯れてしまう。

いつ芽を出すかという発芽の時期は、雑草にとっては **A** 活問題なのである。

② もっとも、種子が落ちた時期と発芽に適した時期が異なるということは、雑草以外の野生植物にとっても重要な問題である。そのため、雑草を含む野生の植物は、種子が熟してもすぐには芽を出さない仕組みを持っている。この仕組みは「一次休眠（内生休眠）」と呼ばれている。

一次休眠は発芽に適する時期を待つための休眠である。たとえば、種皮が固くて水分や酸素を通さないようになっており、時間が経つと皮がやわらかくなって酸素が通って芽を出すような「硬実種子」と呼ばれる種子もある。アサガオの種子に、やすりやナイフで傷をつけると芽が出やすくなるのは、アサガオが硬実種子だからである。

また、② 春に芽が出る種子は、「春」という季節を感じて芽を出す。

種子が熟した B も春と気温はよく似ている。小春日和③ という言葉があるように、冬になっても、春のように暖かな日はある。種子はどのようにして、春であることを知るのだろうか。

植物の種子が春を感じる ジョウウケンは、「冬の寒さ」である。冬の低温を経験した種子のみが、春の暖かさを感じて芽を出すのである。見せかけの暖かさは、やがて訪れる冬の寒さの前触れに過ぎない。長く寒い冬の後にだけ本当の春がやってくる。だから種子は見せかけの暖かさにぬか喜びすることなく、じつと冬の寒さを待っているのである。冬の寒さ、すなわち低温を経験しないと発芽しない性質は「低温要求性」と呼ばれている。低温に耐えるのでなく、低温を必要とし要求しているのである。

「冬が来なければ本当の春は来ない」

何だか人生にも④ 示唆的な、種子の戦略である。

③ このように、時間が経った種子は休眠から覚めて芽を出そうとする。

しかし、雑草の種子は春だからといって芽を出せばよいという単純なものでもない。弱く小さな雑草の芽生えにとっては、いつ芽を出すかが生死を分ける。そのため、環境を複雑に読み取って、発芽のタイミングを計るのである。芽を出そうとしても、発芽には適さないかも知れない。そんなとき、雑草の種子は再び休眠状態になる。これは「二次休眠（誘導休眠）」と呼ばれている。

人間でいえば、一度、目を覚ましたものの時計を見るとまだ早かったので二度寝してしまうような感じだろうか。その後、私たちがふ

とんの中で寝たり目が覚めたりを繰り返すように、雑草種子は、覚醒と二次休眠を繰り返しながら、発芽のチャンスを窺っていくのである。一方、覚醒して発芽できる状態になっても、発芽に必要な、水や酸素や温度がなければ種子は発芽しない。この状態を「環境休眠（強制休眠）」と言う場合がある。ただし、これは目を覚ましている状態であるため、本来の休眠ではない。

⑤ 雑草の休眠の仕組みは極めて複雑であると言われている。

雑草は季節に従って、キソク正しく芽を出せば良いというものではない。雑草の生える環境には予測不能な変化が起こる。春になったからといって発芽のチャンスだとは限らないし、いつ劇的なチャンスが訪れるかもわからない。そのため、雑草は一般的な野生の植物よりも、より複雑な休眠の仕組みを持っているのである。

（稲垣栄洋『雑草はなぜそこに生えているのか』）

問一 線 a ～ c のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 A ・ B について次の問いに答えなさい。

(1) A に入る漢字として「生」か「死」のうち適切な漢字を答えなさい。

(2) B に入る季節を表す漢字一字を答えなさい。

問三 線①「雑草はこの三つの要素が揃っても芽を出さない」のはなぜですか。次の文の [] に当てはまる語句を本文中の [1] 段落から二十字でぬき出して答えなさい。

雑草の種子は [] ため、「休眠」という性質を持っているから。

問四 — 線②「春に芽が出る種子は、『春』という季節を感じて芽を出す」の説明として最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 春に芽が出る種子は、温度が上がると種皮がやわらかくなって芽を出す。

イ 春に芽が出る種子は、決まった気温まで上がるとすぐに芽を出す。

ウ 春に芽が出る種子は、種子が熟した後から一定の時間が経つと芽を出す。

エ 春に芽が出る種子は、冬の低温の後に訪れる暖かさに反応して芽を出す。

問五 — 線③「冬になっても、春のように暖かな日」の言いかえとして最も適切なものを本文中から八字でぬき出して答えなさい。

問六 — 線④「示唆的な」の言いかえとして最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 欠点を問いただす

イ それとなく通じる

ウ 自分で考えて行う

エ 明確にわかる

問七 — 線⑤「雑草の休眠の仕組みは極めて複雑である」について、次の問いに答えなさい。

(1) 「一次休眠」の目的を本文中の[2]段落から十一字でぬき出して答えなさい。

(2) 「一次休眠」と「二次休眠」にはどのような違いがありますか。次の文の[]に当てはまる語を、[I]は本文中の[2]段落から五字で、[II]は本文中の[3]段落から五字でそれぞれぬき出して答えなさい。

「一次休眠」は[I]の種子に共通する仕組みだが、「二次休眠」は[II]だけが持つ仕組みである。

(3) 雑草が「環境休眠」という仕組みを持つのはなぜですか。次の文の[]に当てはまる語句を「発芽」という語を用いて二十五字以内で答えなさい。

雑草の生える環境にはさまざまな変化が起こるため、[]から。

問八 本文を読んだあとに、Aさんの班がその内容について話し合いました。以下の文章を読んであとの問いに答えなさい。

Aさん ^ア植物が発芽するためには様々な要素が揃う必要がありますが、その要素は植物の種類によって異なるのですね。

Bさん ^イ筆者は、人間の育てる野菜や花は水、酸素、温度が揃えば芽を出すが、雑草は芽を出してすぐに枯れてしまわないために、「休眠」という方法で、発芽のタイミングを自分で決めていると述べています。

Cさん さらに、雑草を含む一般的な野生の植物の「休眠」の方法についても説明しています。^ウ時間が経たないと発芽しないアサガオの硬実種子や、冬の寒さを経験しないと春に発芽しない種子を例に挙げています。

Dさん また、^エ雑草はさらに複雑で、発芽しても環境を読み取って再び休眠したり、覚醒しても再び休眠したりするという「二次休眠」「環境休眠」と呼ばれる完全な休眠をとる植物だと説明していますね。

Aさん 筆者は、仕組みの複雑さを説明することで、雑草が するためにいかに戦略的に休眠を使っているかを主張したいのだと思います。

Cさん では、雑草の発芽について筆者の考えをまとめていきましょう。

1 に入ることばとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア 進化 イ 越冬^{えつとう} ウ 生存 エ 休息

2 ——— 線ア～エのうち、本文から読みとれる内容と異なっているものを一つ選び、記号で答えなさい。

令和 7 年度

中学校プレテスト

算 数

注 意

- 1 問題は①から⑤まで5問あります。
- 2 試験時間は45分で、始めの合図で開始し、終わりの合図で筆記用具をおいてください。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えを直すときは、きれいに消してから新しい答えを書いてください。
- 5 受験番号を問題用紙と解答用紙の決められたところに記入してください。
- 6 解答は別紙の解答用紙に記入してください。
- 7 計算は問題用紙の余白を使用してください。
- 8 図は必ずしも正確ではありません。
- 9 円周率は3.14として計算してください。
- 10 分数で解答する場合は、指示がない限り、これ以上約分できない形で答えてください。

受験番号	
------	--

① 次の にあてはまる数を答えなさい。

(1) $1\frac{1}{3} \times 1.05 - \frac{12}{13} \times 1.04 =$

(2) $2.3 \div 0.4 \times 0.8 + 5.2 \times 0.7 \div 1.3 =$

(3) $43 \times 17 + 23 \times 34 - 23 \times 51 =$

(4) $13 \div 8 +$ $\times 0.125 = 10$

(5) $220ha + 440000m^2 + 6600a =$ km^2

② 次の各問いに答えなさい。

(1) 1周 720 m の池の周りを，姉と妹が同時に同じ場所を出発し同じ向きに進むと，45 分後に姉が妹に追いつきます。また，姉と妹が同時に同じ場所を出発し反対の向きに進むと，5 分後に出会います。この池の周りを姉が1周するのに何分かかりますか。

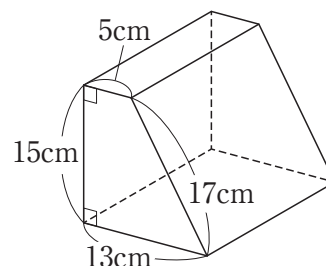
(2) ある本を，1 日目に全ページ数の $\frac{2}{7}$ と 10 ページ，2 日目に残りのページ数の 60% を読んだところ，52 ページ残りました。この本は全部で何ページですか。

(3) 3 時ちょうどに時計の長針と短針が作る角のうち，小さいほうの角の大きさは 90 度です。3 時ちょうどから短針が 20 度進んだとき，長針と短針の作る角のうち，小さいほうの角の大きさは何度ですか。

(4) ある長さの 1 本のテープを切り分けます。このテープを何人かに 1.2 m ずつ分けると，ちょうど 2 m あまります。また，同じ人数に 1.6 m ずつ分けると，ちょうど 1 人分足りません。このテープの長さは何 m ですか。

(5) 36 人のクラスで，通学に電車と自転車を使っている人数を調べました。電車を使っている生徒は 25 人，自転車を使っている生徒は 13 人，電車と自転車のどちらも使っている生徒は 7 人でした。電車も自転車も使っていない生徒は何人ですか。

(6) 右の四角柱の表面積は 1170 cm^2 です。
この四角柱の体積は何 cm^3 ですか。



(問題は次のページに続きます。)

- ③ 1, 2, 3, 4, 5の数字を1つずつ書いた5枚のカードがあります。この5枚の中から4枚を選んで、下の式のア～エに1枚ずつ並べ、小数と分数をたす式を作ります。

$$\boxed{\text{ア}}.\boxed{\text{イ}} + \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}}$$

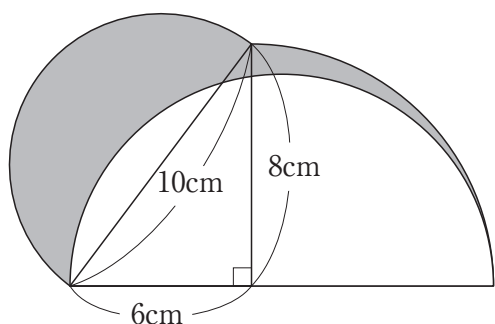
このとき、次の各問いに答えなさい。ただし、 $\frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}}$ は約分できるものや整数になるものでもよいとします。

- (1) 全部で何通りの式が作れますか。
- (2) たし算の結果がいちばん大きくなるときの答えと、いちばん小さくなるときの答えはそれぞれいくつですか。分数で答えなさい。
- (3) たし算の結果が整数になる式は全部で何通り作れますか。

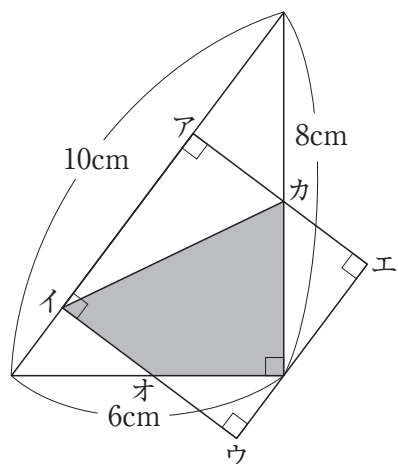
(問題は次のページに続きます。)

- 4 3つの辺の長さが6 cm, 8 cm, 10 cm の直角三角形があります。下の図1は、この直角三角形の周りに直径が10 cm の半円と半径が8 cm の円を4等分した図形を合わせ、さらに半円を重ねた図形です。また、図2は3つの辺の長さが6 cm, 8 cm, 10 cm の直角三角形と正方形アイウエを組み合わせた図形で、辺アイは直角三角形の10 cm の辺上にあり、辺ウエ上に直角三角形の頂点があります。また、アカの長さといオの長さは等しいです。このとき、次の各問いに答えなさい。

(図1)



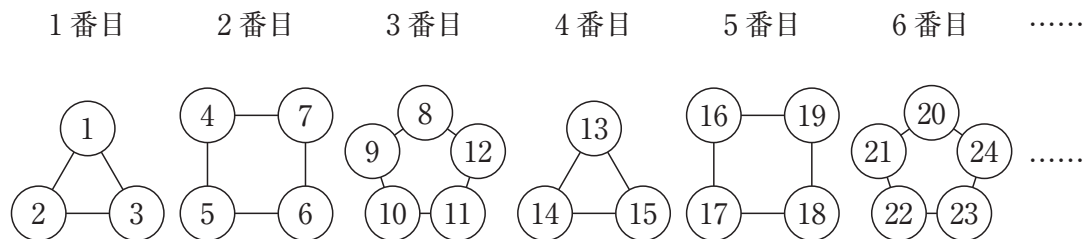
(図2)



- (1) 図1の色をつけた部分の周りの長さは何 cm ですか。
- (2) 図1の色をつけた部分の面積は何 cm^2 ですか。
- (3) 図2の色をつけた部分の面積は何 cm^2 ですか。

(問題は次のページに続きます。)

- ⑤ 下の図のように，三角形と四角形と五角形がこの順にくり返し並んでおり，頂点には 1 から順に整数が書きこまれています。このとき，次の各問いに答えなさい。



- (1) 50 は何番目の図形に書きこまれていますか。
- (2) 20 番目の図形に書きこまれている数の和はいくつですか。
- (3) 書きこまれている数の和が 510 になっているのは何番目の図形ですか。

(試験問題はこれで終わりです)

(計 算 用 紙)

受験番号	
------	--

令和7年度 中学校プレテスト 解答用紙

算 数

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

2

(1)	分
(2)	ページ
(3)	度
(4)	m
(5)	人
(6)	cm ³

3

(1)	通り
(2)	大きいとき
	小さいとき
(3)	通り

4

(1)	cm
(2)	cm ²
(3)	cm ²

5

(1)	番目
(2)	
(3)	番目

令和 7 年度

中学校プレテスト

理 科

注 意

- 1 問題は①から④まで 4 問あります。
- 2 試験時間は 45 分で、始めの合図で開始し、終わりの合図で筆記用具をおいてください。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 答えを直すときは、きれいに消してから新しい答えを書いてください。
- 5 受験番号を問題用紙と解答用紙の決められたところに記入してください。
- 6 解答は別紙の解答用紙に記入してください。

受験番号	
------	--

① 川の流れについて、次の文章を読み、あとの各問いに答えなさい。

川などを流れる水には、大きく分けて3つのはたらきがあります。流れる水が地面をけずりとるはたらきを（ ① ）といいます。このはたらきによって、図1のように、㉔川の上流では大地が深くえぐられ、けわしい谷がつくられます。川の上流でけずりとした土は中流から下流に運ばれます。このはたらきを（ ② ）といいます。さらに、運んできた土を積もらせるはたらきを（ ③ ）といいます。山間部から流れてきた水が平地へ流れ出て、㉕水の流れが急にゆるやかになると、運ばれた土はおうぎ状に積もります。山地や平野のさまざまな地形は、これらの流れる水のはたらきによってつくられたものといえます。

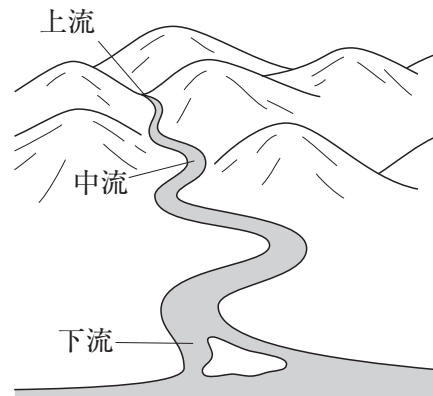


図1

大雨などで川の水が増えると、流れる水のはたらきが大きくなり、川岸がけずられたり、川の水が外にあふれ出したりして、災害が起こることがあります。大雨による災害を防ぐために、㉖川の上流でふった雨水をたくわえ、下流に一度に水が流れるのを防ぐ構造をつくったり、川岸がけずられるのを防ぐために川岸にブロックを置いたり、㉗けずられた土が下流に一度に流れるのを防ぐ構造をつくったりしています。災害から身を守るために、日頃から、㉘こう水が起きそうな場所を調べたり、ひなんする場所を調べたりしておくことも大切です。

問1 文章中の空らん（ ① ）～（ ③ ）にあてはまる流れる水のはたらきをそれぞれ答えなさい。

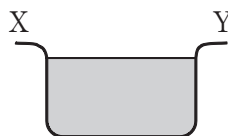
問2 文章中の下線部㉔の深くけわしい谷は、断面の形から何とよべれますか。

問3 文章中の下線部㉕のおうぎ状に積もったところを何といいますか。

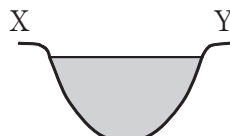
問4 図2は、川が曲がって流れている場所を模式的に表したものです。

- (1) 図2のX-Y間の川底の形はどのようになっていると考えられますか。次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

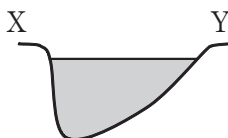
(ア)



(イ)



(ウ)



(エ)

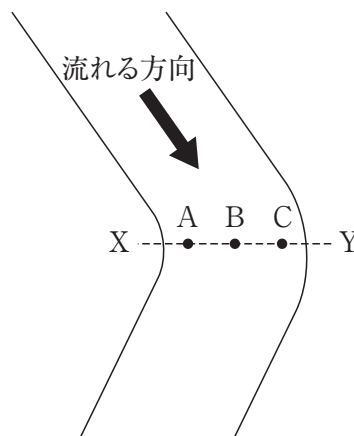
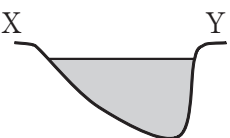


図2

- (2) 図2のX-Y間で、流れる水の速さを説明した文として正しいものを、次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) Aの部分の流れが遅く、Cの部分の流れが速い。

(イ) Bの部分の流れが遅く、AとCの部分の流れが速い。

(ウ) Cの部分の流れが遅く、Aの部分の流れが速い。

(エ) AとCの部分の流れが遅く、Bの部分の流れが速い。

問5 文章中の下線部㉕, ㉖の構造物を何といますか。次の(ア)～(エ)からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) てい防 (イ) ダム (ウ) 砂防ダム (エ) 遊水地

問6 文章中の下線部㉗について、災害が起きそうな場所やひなんする場所を地図にまとめておいたものを何といますか。カタカナで答えなさい。

② 図1はアサガオの花のつくりを、図2はヘチマの2種類の花のつくりを表したものです。これについて、あとの各問いに答えなさい。

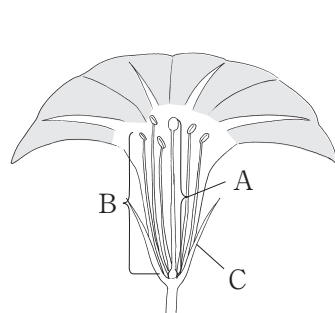


図1

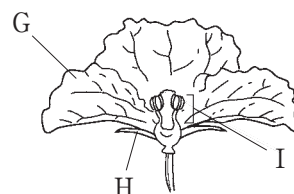
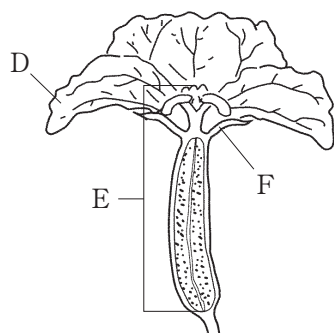


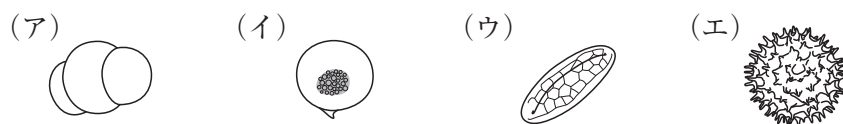
図2

問1 アサガオとヘチマに共通した特ちょうについて説明した文として正しいものを、次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 子葉が1枚である。
- (イ) 葉のすじがあみ目状になっている。
- (ウ) 花の色は白色である。
- (エ) 花びらが5枚あり、1枚1枚はなれている。

問2 アサガオの花では、花粉がどの部分の先につくことを受粉といいますか。図1のA～Cから1つ選び、記号で答えなさい。

問3 アサガオの花粉はどれですか。次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。



問4 ヘチマの花で、図1のアサガオの花のAと同じはたらきをするつくりはどれですか。図2のD～Iから1つ選び、記号で答えなさい。

問5 ヘチマのように、2種類の花がさく植物はどれですか。次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) トウモロコシ (イ) イネ (ウ) エンドウ (エ) アブラナ

問6 ヘチマの花粉は、自然の状態ではどのように運ばれますか。次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 雨水に流されて運ばれる。
- (イ) 鳥に食べられて運ばれる。
- (ウ) 虫によって運ばれる。
- (エ) 風に乗って運ばれる。

問7 アサガオの花粉のはたらきについて調べるために、次の実験を行いました。

【実験】 次の日にさきそうなアサガオのつぼみを2つ選び、X、Yとしました。X、Yともにおしべをすべてとりのぞいてから、それぞれのつぼみにふくろをかぶせました。アサガオの花がさいたあと、Xのふくろのアサガオの花はそのままにし、Yのふくろのアサガオの花は受粉させました。花がしぼんだあと、ふくろをはずして、X、Yに実ができているか調べました。

(1) この実験で、アサガオのつぼみにふくろをかぶせるのはなぜですか。理由として正しいものを、次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) ふくろの中の温度を高くして、開花を早めるため。
- (イ) 花びらがとれないようにするため。
- (ウ) つぼみから水分が蒸発しないようにするため。
- (エ) ほかの花の花粉がつかないようにするため。

(2) この実験の結果はどうなりますか。次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) Xには実ができるが、Yには実ができない。
- (イ) Xには実ができないが、Yには実ができる。
- (ウ) X、Yともに実ができる。
- (エ) X、Yともに実はない。

③ ものの燃え方を調べる実験をしました。これについて、あとの各問いに答えなさい。

【実験１】図１のように、空気を入れた集気びんの中に火をつけたろうそくを入れてふたをし、ろうそくのほのおのようすを観察すると、しばらくして火が消えました。図２は、ろうそくを燃やす前の空気が入った集気びんの中の気体の体積の割合を模式的に表したものです。ただし、▲は(①)，○は(②)を表すものとします。

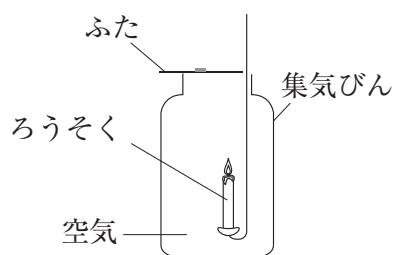


図１

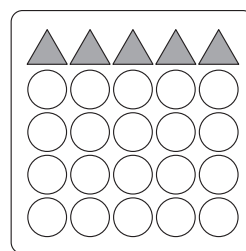


図２

【実験２】図３のように、長さのちがう３本のろうそく A～C に火をつけて、びんをさかさまにしてしずかにかぶせました。しばらくすると、ろうそくが燃えつきる前にすべてのろうそくの火が順に消えてしまいました。

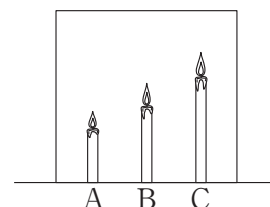


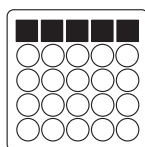
図３

【実験３】図２の▲の気体を発生させるために、三角フラスコに二酸化マンガンを液体 X を入れ、発生した気体を水上置換法で集めました。

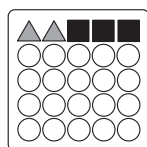
問１ 実験１の文章中の空らん(①)，(②)にあてはまる気体の名前をそれぞれ答えなさい。

問２ 実験１で、ろうそくを燃やしたあとの集気びんの中の気体の体積の割合を表した図はどのようになりますか。次の(ア)～(エ)から１つ選び、記号で答えなさい。ただし、■はろうそくが燃えたあとにできた気体を表しています。

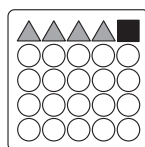
(ア)



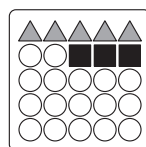
(イ)



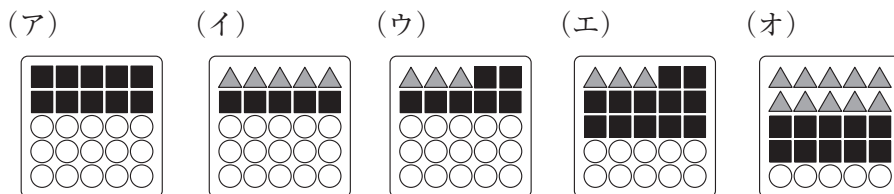
(ウ)



(エ)



問3 実験1で、次の(ア)～(オ)のように気体の体積の割合を変えた集気びんを用意して、火のついたろうそくを入れてふたをしました。このとき、空気中よりもはやく火が消えるものはどれですか。すべて選び、記号で答えなさい。



問4 実験2で、ろうそくの火はどのような順で消えますか。早く消える順に並んだものを、次の(ア)～(カ)から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) A → B → C (イ) A → C → B (ウ) B → A → C
(エ) B → C → A (オ) C → A → B (カ) C → B → A

問5 実験3で、液体Xとして正しいものを、次の(ア)～(エ)から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 塩酸 (イ) アンモニア水
(ウ) 過酸化水素水 (エ) 水酸化ナトリウム水溶液

問6 実験3で、三角フラスコPには二酸化マンガンを0.5 g と3%の液体Xを100cm³入れ、三角フラスコQには二酸化マンガンを0.5 g と3%の液体Xを100cm³と水100cm³を入れて、それぞれ気体を発生させました。気体がすべて発生し終わったとき、三角フラスコPとQで発生する気体の量はどうなりますか。次の(ア)～(ウ)から1つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 三角フラスコPと三角フラスコQで発生する気体の量は同じになる。
(イ) 三角フラスコPより三角フラスコQのほうが発生する気体の量が多い。
(ウ) 三角フラスコQより三角フラスコPのほうが発生する気体の量が多い。

問7 実験3で、集気びんいっぱいに発生した気体を集め、集気びんごと重さをはかると613.69 g でした。同じ集気びんに水を満たして集気びんごと重さをはかると978.20 g あり、このときの水の体積は365cm³でした。集気びんいっぱいに集めた気体の重さは何 g ですか。ただし、水1cm³の重さは1 g であるものとします。

- 4 図1のように、ばねA、ばねBの2種類のばねがあります。ばねAは、もとの長さが18cmで、10gのおもりをつるすと1cmのびます。ばねBは、もとの長さが14cmで、10gのおもりをつるすと2cmのびます。これについて、次の各問いに答えなさい。ただし、ばねの重さは考えないものとし、ばねA、ばねBはのびきらないものとします。

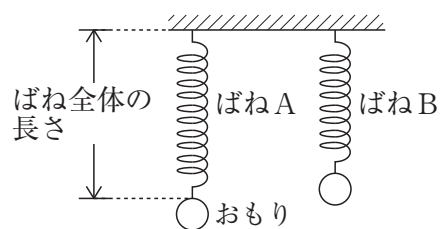


図1

- 問1 ばねののびとおもりの重さとの関係についてまとめた文中の(①)～(③)にあてはまる数や言葉を、あとの(ア)～(カ)からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

ばねにつるすおもりの重さを2倍、3倍にすると、ばねののびは(①)倍、(②)倍となります。よって、ばねののびとおもりの重さは、(③)しています。

(ア) 2 (イ) 3 (ウ) $\frac{1}{2}$ (エ) $\frac{1}{3}$ (オ) 比例 (カ) 反比例

- 問2 ばねAに70gのおもりをつるすと、ばねA全体の長さは何cmになりますか。

- 問3 図2は、ばねAの全体の長さとおもりの重さとの関係を表したグラフです。ばねBの全体の長さとおもりの重さとの関係を表したグラフを、解答用紙の図にかき加えなさい。

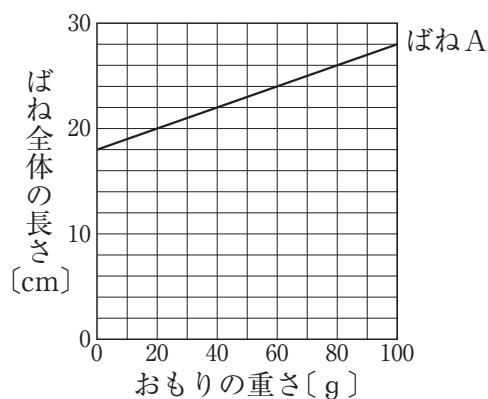


図2

問4 図3のように、ばねBの両端に30gのおもりをつるすと、ばねB全体の長さは何cmになりますか。

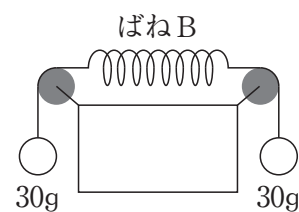


図3

問5 図4のように、ばねAとばねBをたてにつなげて50gのおもりをつるすと、ばねAとばねBの全体の長さの和は何cmになりますか。

問6 図4のように、ばねAとばねBをたてにつなげて、重さがわからないおもりをつるすと、ばねAとばねBの全体の長さの和は56cmになりました。このとき、つるしたおもりの重さは何gですか。

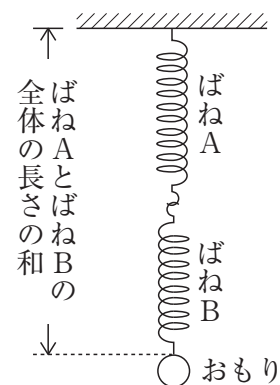


図4

受験番号	
------	--

令和7年度 中学校プレテスト 解答用紙

理 科

①	問 1	①				②				③				
	問 2					問 3				問 4	(1)		(2)	
	問 5	㊦		㊧		問 6								

②	問 1		問 2		問 3		問 4		問 5		問 6		問 7	(1)		(2)	

③	問 1	①					②					問 2		問 3			
	問 4		問 5		問 6		問 7	g									

④	問 1	①		②		③		問 2	cm			
	問 3	ばね全体の長さ 〔cm〕 30 20 10 0 0 20 40 60 80 100 ばねA										
		問 4	cm				問 5	cm			問 6	g